



Newsletter No.141 2017.5.24

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



5月！新緑とお花をみて、わくわくするポーポキ！でも、そろそろ蒸し暑い雨の季節になります。ポーポキの5月の散歩は、涼しいところの確保を兼ねています。みなさまも、涼しいところをゲットできるといいね。

Popoki's Hot News!



NEW!

今年の灘チャレンジは7月2日です！
ポーポキは模擬店と展示を担当します。
そして、特別ゲストを招待しました！
大槌町の川原畑洋子さん！
会いに来てね！まっけていま～す！
(9 ページをご参照ください)

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのもりにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「新しい街に引っ越して、我が家から見える新しい街の景色にワクワクします。海が見えるのです！いくつになっても新しい生活にワクワクできるのは平和なことかもしれないね。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

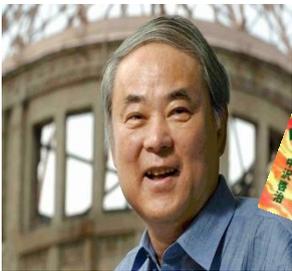
ポーポキと一緒に平和を創り出す集会
～ポーポキのミニ平和映画祭 その7～
「春に「核」を考えよう」

まこにゃん

2017年5月13日(土)、新しくなった神戸YMCAにて「平和を創り出す集会」が行われました。この日は2本のビデオを見ました。ひとつめに「ヒロシマの証言～被爆者は語る」(国立広島・長崎原爆死没者追悼平和祈念館)という、1945年8月6日広島で13歳の時に被爆された笹森恵子さんの証言ビデオを見ました。笹森さんはビデオの最後に、伝えたいメッセージとして「皆が、親が子を想うような愛情を持たば争いはなくなる。大事なものは愛情だ」とおっしゃっていました。その後、どんなことを感じ、なにを考えたのかというディスカッションをしました。



笹森恵子さん



中沢啓治さん



ふたつめに、「はだしのゲンのメッセージ」という、『はだしのゲン』の作者である中沢啓治さんのドキュメンタリーを見ました。「はだしのゲン」は中沢啓治さんの戦前から戦後の生活をモデルにしたものです。ドキュメンタリーの中で、中沢さんはご自身の被爆体験について語っています。漫画の中でも繰り返し登場する「麦」には、中沢さんの強い想いが込められています。「麦は何回踏まれてもまた起き上がる。だから麦のように生きよ」そうおっしゃっていました。

ビデオを見たあと、テーブルごとに感想をシェアしました。「被爆体験者の話を聞いて、心が痛かった」「歴史的に広島に原爆が落とされたということは知っていたけど、体験者の話を聞いたのは初めてでした」という感想が印象深かったです。

私は広島出身です。実家は、原爆ドームから自転車で20分のところにあります。幼いころから被爆者の話を聞き育ってきました。はだしのゲンの作者である中沢啓治さんにもお会いしたことがあります。ちょうど、彼が亡くなる約半年前でした。あの時の中沢啓治を思い出して、画面の中で語る中沢さんに想いをはせました。どうやって私たちは、被爆者の想いを語り継ぐことができるでしょうか?この、広島ではない神戸という土地で、多様なバックグラウンドをもつ方々と核について考えることができたのは本当に貴重な学びある時間でした。広島ではない場所で、戦争や核の話題が上がる夏ではなく春に、このような機会を持つことはとても大事だと思います。これからも皆さんと「平和」や「核」について沢山話したいです。そして、いつでも広島に来てください。私が平和公園のガイドをしますし、被爆者の話を直接聞く機会を持つことができます!



5月の第一月曜日からポーポキの新しい取り組みがはじまりました。週に一回、災害に関する単語を一つと、その例文一つをポーポキのフェースブックページにアップしました。そして、ポーポキのにゃん友だちに翻訳をお願いしました。おかげで、日本語、英語以外にたくさんの言語を楽しむことができました。文字が読めないとか、発音がわからないとか、難しいところもあります。けれど、こうやってみんなが話していくんだねと思いました。一つでも覚えることができたなら、訳に立つかもしれないね。

最初の週は「災害」。その次の週は「地震」。続いて「津波」、「火事」。来週は最後の月曜日。その日は今まで出てきた今月の単語を使って、簡単なおはなしをつくります。みなにゃんも翻訳だけではなく、おはなしをつくってくれると面白いと思います。日本語、英語以外のことばの場合、英訳か日本語訳をつけてくれるとうれしいですね。

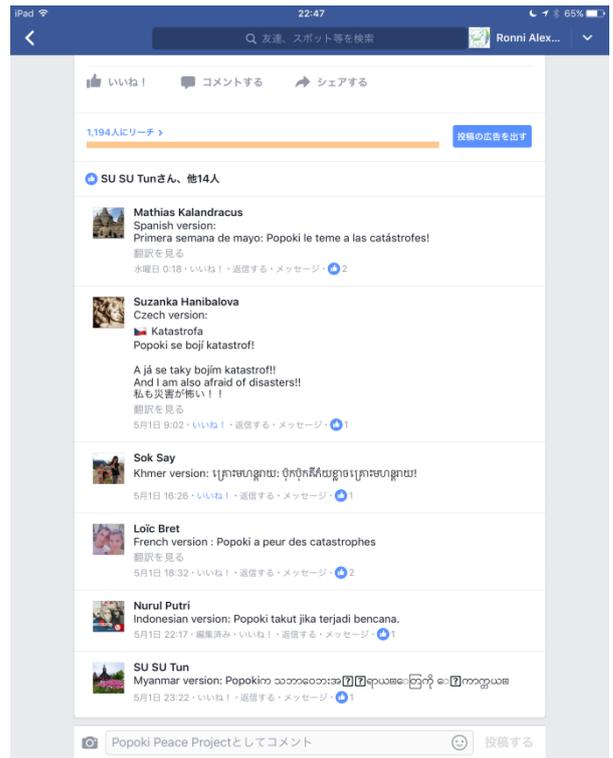
やってみての感想はまず、月曜日はすぐに来ます！同時に、単語や例文を考えたり、おはなしをつくったりすると今までと少し違った角度から災害を考えることができました。これは少し驚きです。そして、わからない言語でも、見たりする楽しさはもちろんのことですが、それ以外にはポーポキの友だちたちとのつながりを感じたり、遠く離れていても数分間だけでも共通に関心を持っていることについて考えたりできるなど、ポーポキの友だちたちの存在の大きさや彼らに対する感謝を感じます。ちょっとうれしいです。

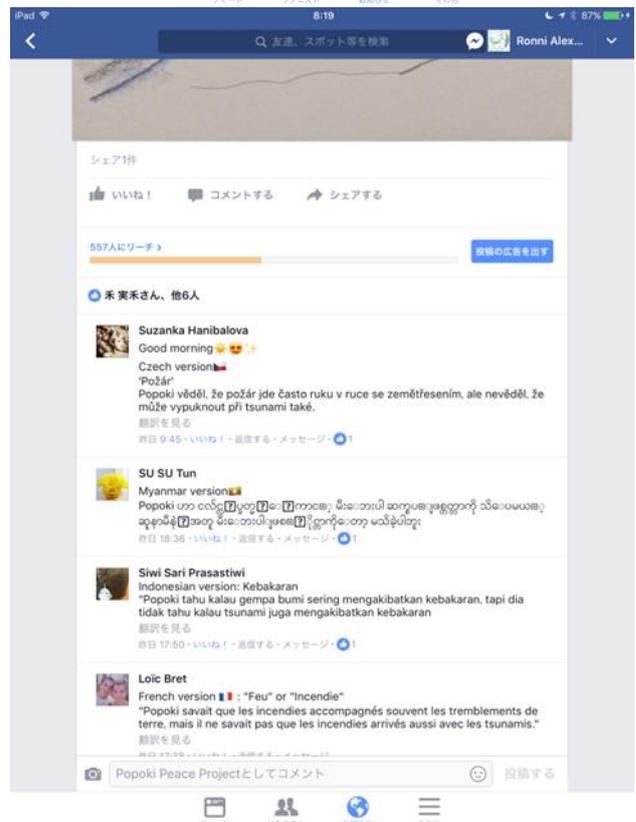
もしも半年も続けることができれば、たくさんの単語と例文、そしてたくさんのおはなしができます。それらをももちろん、ポーポキ通信などを通じてFBを使わないみなさんや観ていないみなさんにも共有します。もちろん、みなにゃんからのコメントや提案は大歓迎です！つくっていきながら、つぎにどう使ったら良いかを一緒に考えましょう。

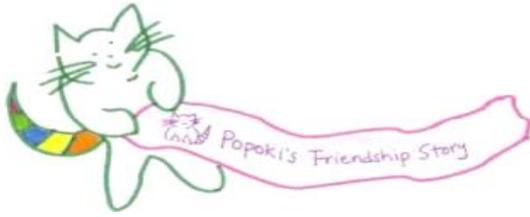
この文章を日曜日の夜に書いています。明日はまた月曜日です。楽しみにしてくださいね！

追伸:実は、3週目に間違いました。「次の今月の最後だ」と書いたのですが、5月には月曜日が5回あります！だから22日に再度単語と例文をアップし、29日におはなしにします。失礼しました！









Popoki's Interview

ポーポキ友情物語プロジェクト
人々とのたわいない会話
-プトリニャン

はじめに、私は、何を話すべきか、ぎこちなさを感じました。とりわけ、私の日本語能力は限られている。しかし、彼らが自分が描いた絵となれば、喜んで共有してくれます。
‘じゃあ、お絵かきをしませんか’

おばあちゃん (80歳)

彼女は、息子のお嫁さんと一緒に来た。また、認知症だそうだ。しかし、彼女がインドネシアにいった記憶はある。彼女は、インドネシアに滞在していたときの海や案内してくれたインドネシア人の女性について、楽しそうに話す。人生について楽観的な人だと感じた。なんといっても、彼女は、蛇が好きなんだ!!!



中学生の女の子

彼女らは、放課後友だちとともにやってきた。彼らは、私たちの活動について関心を抱いていたようだ。しばらく彼らと話していたとき、その日の学校はどうだったかについて訪ねた。彼女は、忙しくそして疲れる、でも、大学まで行きたいという。私は、津波が直撃したときにどうしていたかを聞くと、彼女は、そのとき学校にいて、学校は高台にあり津波から逃れられたそうだ。また、彼女は学校が燃えているところもみている。彼女は、流暢な英語で話した。彼女は、喋りながら布のそばに置いてあったアンパンマン人形の姿を描いた。アンパンマンは、日本の誰もが大好きで、大槌の人もそうだといった。

いもうと (5歳)



彼女は、母と姉につれられてやってきた。彼女は、何を書こうか迷っていた。なので、私は、自分の手を書いてみることを提案した。彼女は、同意してくれた(赤い丸で)。彼女は、とても寡黙で私を凝視していた。反対に、姉はおしゃべりだった。妹は戸惑っていたので、私は描き続けるように励ました。私は、ネイルアートを追加したが、彼女は残念そうな顔をした。私は反省して、悪いと思

った。何度も何度も謝った。

この教訓から、私は翌日から失敗を繰り返さないようにした。描いているのは単なる絵でなく、みんなの感情を表すための手段だから、描く人のものだ。私たちはそれらを邪魔するべきではないだろう。

伊藤さん

彼女は、中学生時代に写真を取り始めて以来、写真愛好家だ。はじめは、弟を被写体にしていて、それからカメラを肌身離さず持ち歩いている。彼女は、普段の近所の写真を取っていたが、これらの風景は消えると思っていたいなかった。津波が押し寄せたとき、彼女はおうちもお店も大事な家族も失った。彼女は、街が水に飲まれていく様子をなんとか記録し、その後の復興の過程を記録した。彼女の作品は、注目され、海外にまで展覧会が開催されるようになった。本当のところは、彼女は有名になりたいわけでも、災害記録を作りたかったわけでもない。ありのままを記録したかっただけなのだ。これが現実に起こったことなのだと、世界中に知ってほしいと願っている。海外には、福島第一原発事故のことは報道されたが、大槌町のことは報道されないのが悲しいと思う。

彼女は、インドネシアが美しい国だと聞き、写真を撮りに行きたいそうだ。私は、彼女の素晴らしい将来と夢が実現することを心から願っている。

ひなたちゃん (4歳)

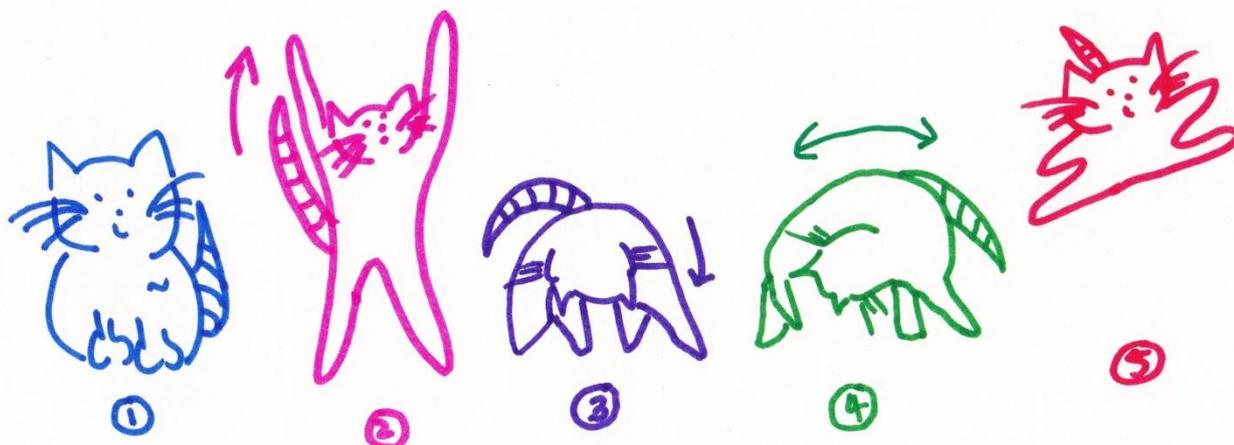
ひなたちゃんの好きな漫画キャラはドラえもんだ。彼女は、ドラえもんが大きなポケットを持ち、多くの奇跡を叶えてくれることを教えてくれた。絵には自信が無いようで、お母さんが手伝いながら、描き終えることができた。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 108

今月のテーマは、わき腹のストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう。全身を上へ、上へ、さらに上はストレッチしましょう！
 3. 次は、前屈して、脱力！そして、手を床につけて、手、足の間からのぞきましょう。自分のお尻は見えませんか？
 4. 今度は、右手と右足の間をのぞいてみましょう。右が終わったら、左もしてみましょう。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：6月21日 19:00～ 灘薬剤師会事務所！！！！

灘区深田町4丁目1-1 JR 六甲道駅南ウエルブ六甲2番街6階 JR 六甲道から歩いて数分

- 5月27日 ポーポキ at 畿央大学
- 7月2日 ポーポキ at 灘チャレンジ！今年も模擬店&展示！
◇ 大槌町からのスペシャルゲストは川原畑洋子さん！SHAKE HAND活動もします！
- 7月15日 ポーポキ at 子どもの里！
- 8月6日 ヒロシマディースカイプ(予定)

ポーポキの友だちから

東日本大震災避難者の会 Thanks and Dream編 「3.11避難者の声～当事者自身がアーカイブ～」
(2017.3. 11) 問い合わせ先：東日本大震災避難者の会 Thanks and Dream、sandori2014@gmail.com



23rd Nada
Challenge
Festival @
Togakawa Park
2 July 2017

7月2日(日) 10-16時 トガカワコウエン 都賀川公園

※小雨決行 荒天中止

神戸大学の学生が中心になって地域の皆さんと作る祭り、灘チャレンジ。阪神淡路大震災の復興祭として始まって今年で23回目となりました。

Kobe University students and local residents have held this festival since the 1995 Kobe earthquake.



阪神大石駅から
徒歩8分
JR六甲道駅から
徒歩14分
阪急六甲駅から
徒歩18分

〒657-8501
神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 神戸大学学務部学生支援課気付
神戸大学学生震災救援隊内灘チャレンジ実行委員会
078-881-4755
nadachallenge@yahoo.co.jp
@Ncha_2017
http://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge



Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange
<http://www.interpeople.or.jp>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』
2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.”
International Feminist Journal of Politics. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae?
Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011,
p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E.,
ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なにに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え]
http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social
Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日
本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポー
ポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情
って、なにに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。
ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10
500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8
(アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10





私にとってのポーホキ

けいにゃん

難民についての本を読みました。その中での、戦争からヨーロッパに逃げた人の体験談です。

わたしの住んでいた町は平和でした。遺跡が残る静かな町。家族5人で暮らしていました。休みの日にはアンズの木の下でピクニックを楽しみました。これは戦争が始まる前の思い出。戦いが始まるとわたしは軍に捕まりました。家族の目の前で。そして何か月も閉じ込められ、痛い目にあわされました。家族を平和な場所に住まわせるには、ヨーロッパに逃げるほか道はありませんでした(パトリック・キングズレー 2016:2-12*)。

パリに住んでいる私の友達の体験談です。

わたしはフランスの小さな村に生まれました。平和な村でした。これは子ども時代の思い出。やがて知らない人たちが住むようになり、今は麻薬を売る危険な場所になりました。パリでは時々家から駅に行くまでによそ者に罵倒されます。5人以上の人に囲まれたことも。わたしがフランス生まれだから。平和が壊され彼らを怖がるのは当たり前ですよね。それとも「しょうがない」と我慢するしかないですか？(Laura Grego: April 15, 2017)

「平和」とはだれにとってのもの？

みんなが平和に暮らせるとはどうすればよいか、考えてみませんか？



*パトリック・キングズレー(2016) 『シリア難民 人類に突きつけられた 21 世紀最悪の難問』、ダイヤモンド社

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!